

子どもの姿



福島市小中学校長会協議会
会長 渡部 正晴 (福島四中)

福島市小中学校PTA連合会、各学校PTA。そして、会員の皆様には、日頃より子どもたちの豊かな成長と健全育成にご尽力いただいていることにより感謝申し上げます。

さて、皆さんは「おこだでませんように」という絵本を「ご覧になったことはありませんか。『くすのきしげのり』さんの作品です。小学一年生の男の子が主人公で、毎日、何かをしてお母さん

んと担任の先生に叱られていきます。本当は「いい子だね」と褒めてもらいたいのにも、上手に表現ができず、暴れたり、ふざけたりするので叱られてばかりです。七夕の時、願い事を短冊に書きました。「おこられませぬように」と書いたつもりが、「おこだでませぬように」と書いてしまいました。

先生は何を書きたかつたのかを彼に聞き、そして彼の気持ちに気づき、「叱ってばかりでこめんね」と涙を流して謝り、短冊に願い事が書けたことを褒めました。先生は、家庭にも連絡

をしました。彼が帰ると母親も涙ながらに謝り、ぎゅーと抱きしめて褒めました。この作品



「A rolling stone gathers no moss.」変化を楽しめ。



福島市小中学校PTA連合会
会長 二階堂 義樹 (森合小)

かなければならないと感じています。そこで本会では、前年踏襲型の活動を見直し、より子どもたちの安心・安全な学習環境の充実と健全育成につながる取り組みへと活動の転換を進めているところ。今後は、活動の透明性と情報共有の強化を図るため、ホームページ運用を進めてまいります。

「ふくしまの未来を生きる子どもたちのために、保護者である私たちに何ができるのか」この問いを共に考え、協力し合いながら、持続可能なPTA活動の実現を目指してまいります。

まずは、保護者の皆様には、子どもたちが家庭を安心して居場所として感じられるよう、変わらぬ愛情を注いでいただけますと幸いです。十分に愛情を受け止めた子どもたちは自己有用感を育み、学校や地域社会で挑戦する力を身につけ、自らの人生を切り開く大きな土台となります。

今後とも本会の活動に、温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



令和7年 最優秀校は 松陵

小学校の部

賞	学校名	広報紙名
最優秀賞	佐倉小学校	さくら
優秀賞	御山小学校	柚子
優秀賞	三河台小学校	六華
優秀賞	福島第二小学校	第二学園
優秀賞	福島大学附属小学校	おさらぎ

中学校・義務学校・特別支援学校の部

賞	学校名	広報紙名
最優秀賞	松陵義務教育学校	Four rivers
優秀賞	福島第一中学校	SUZUKAKE
優秀賞	福島大学附属特別支援学校	いちよう

「子どもがまんなか。PとTが手を取り合い 持続可能な組織運営へ」

市連P本部事務局

日頃より会員の皆様には、福島市P連の活動に際し、ご理解ご協力いただき、感謝申し上げます。はじめに、福島市P連のホームページが完成し、運用開始いたしました。大きな目的は、情報の見える化です。市P本部や委員会などのような活動をしているのか？ 一般会員にはもちろん、関わっている委員もお互いの活動進捗状況が分かるようになりました。

さて、今年度は、福島市P連として、活動内容の精査を行っており、持続可能な組織運営について、あらゆる可能性を模

索する一年となりました。昨今、先生方や保護者の働き方の変化等により、「保護者のため」一先生のためにも関わりやすい活動内容が求められています。

単P代表の皆様には、臨時理事会等への出席や、「今後の福島市P連の在り方について」、「各小中学校が抱える課題等について」のアンケートにご協力をいただき、ありがとうございます。

その中で挙げられた、役員の手不足、活動内容の精査においては、単P存続に関わる喫緊の課題だと、共通認識を持ちました。学校の規模に関わらず、課題を抱えている学校に対して、福島市P連のサポート体制を確立したいと考えております。

来年度は、委員会活動をはじめ、大幅な見直しを予定しておりますので、別の機会に詳細をお伝えしていきます。今後も、会員の教養を高め合うような場、各PTAとの交流が生まれるような場、情報交換の場を提供できるよう活動してまいります。

最後に、福島市P連は、大きな変化の時に来ています。今こそ、皆様のお力添えが必要です。団結し活動していきたいと考えておりますので、どうか協力をいただけますようお願い申し上げます。

家庭教育推進委員会

委員長 佐藤 玉恵
(野田中)

家庭教育推進委員会の活動を行って

今年度、福島市教育委員会事業「福島型「非認知能力育成」プロジェクト」の一環として家庭教育講演会を福島市立飯野小学校を会場とし、ポーク重子氏による保護者セミナー講演会を対面、オンライン形式を含めて十一月までに三回開催しました。

ポーク重子氏は、川俣町のご出身で、合同会社BYBSコーピング代表を務め、アメリカワシントンDC在住の非認知能力育成の第一人者です。二〇〇七年、愛娘が全米最優秀女子高生に選ばれた経験を基に、自己肯定感や主体性など「非認知能力」の重要

性を日本で広く紹介し、講演や著書を通じて、親子の対話や感情の育み方などを提案しています。第一回は導入的な内容、第二回は「地域が一丸となり、地元を愛する社会性のある子どもを育てる」、第三回は「思いやりと助け合う心をもつ子どもを育てる」といったテーマで開催しました。

参加された保護者の方からは「非認知能力とは」、「自制心の高め方」、「家庭で非認知能力を高める方法」等についての講話内容で、講演時間の拡張を望む声が多数ありました。

教養委員会

委員長 高橋 千春
(百妻中)

令和七年度の教養委員会の活動について

今年度教養委員会では、十月六日青少年会館にて講師にスマイリーキクチさんをお呼びし、「NET社会に生きる子どもたちと家族」という演題で教養講座を行いました。

講師の方を決める際、役員の中から以前県P連分科会で聞いたスマイリーキクチさんのお話がとても良かったと報告があり、是非とも福島市にもお越ししたいとの思いで選考致しました。これまでに計三回の委員会を開催し、講座開催に向けて計画、準備を進めてきました。

当日は約八十名の会員の皆様にお越しいただきました。ネット上で身に覚えのない事件の犯人と仕立て上げられ、約十年間に渡り誹謗中傷や脅迫を受けた経験をお持ちのスマイリーキクチさんには、風評被害の実態やSNSの危険性、トラブル対処法などについて講演していただきました。

当日は約八十名の会員の皆様にお越しいただきました。ネット上で身に覚えのない事件の犯人と仕立て上げられ、約十年間に渡り誹謗中傷や脅迫を受けた経験をお持ちのスマイリーキクチさんには、風評被害の実態やSNSの危険性、トラブル対処法などについて講演していただきました。

芸人であるスマイリーキクチさんのお話はユーモアを入り混ぜた、時に笑いありのトークでしたが、ご本人が受けた悪質な被害、現代社会で

次年度については、実施規模の縮小、保護者の方の負担のないように実施の仕方を見

広報委員会

委員長 小林 玄樹
(福島三中)

更新していく広報の在り方

私たち市連P広報委員会は「この紙面である（会報ゆきうさぎ）」の作成と、市内各小学校のPTAが作成されたPTA広報誌のコンクルールの実行及び審査をおもな活動として行っており、

こうした活動の折に情報交換をしますと、年々減少するPTA委員への負担軽減を講じ、LEBERなどを活用しデジタル発信に切り替え、紙としての広報紙を廃止した学校や、年間の発行回数を減らした学校など各校の工

起きている様々なネットトラブルのお話には衝撃を受け、恐怖を感じました。そして子ども達を取り巻くネット環境の危険性について深く考えさせられました。

講演後会場では質問の時間を設け、会員の皆様の疑問や



直すことも視野に入れて今後検討していく予定です。

夫や情報媒体の変化を感じております。

市連Pのホームページが整えば、広報委員会の活動も紙面とは異なる開けた広報になり、よりタイムリーに、相互アクセスを生かした活動へと変化していく必要を感じます。

その一方で、広報誌コンクルールの活動を通して感じたものは、紙面としての良さでもありました。審査に当たり、広報委員の方々へ事前に選考用として参加紙をPDF

無事に講演を終えることができ、参加していただいた会員の皆様、協力していただいた教養委員の役員の皆様に深く感謝申し上げます。



財政委員会

委員長 長谷部 英弘
(福島一小)

財政委員会の活動について

今年度、財政委員長を務めさせていただきました福島第一小学校PTA会長の長谷部です。日頃より福島市小中学校PTA連合会の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。また、令

和八年度教育予算に関する要望事項のアンケートにご協力いただきありがとうございます。

財政委員会では、教育予算・PTA予算に関する実態調査と予算確保に関する要望活動を行っております。はじめに予算に関する実態調査するため、福島市教育委員会に対し、昨年度実施した教育予算に関する要望事項の執行状況について確認し、その回答を基に、重点要望事項及び要望事項を検討しました。要

参加広報紙は手作り感の伝わる記事や、プロフェッショナル感漂う仕上がりの紙面など、各校の委員さんの思いが込められた素晴らしい作品ばかりでした。どこにも共通して感じたのは、子ども、生徒たちへの温かいまなざしです。そこにPTA広報誌の本質があるのではないのでしょうか。私たちがPTA活動を通

して子どもたちの成長を見守っている、後押ししているんだという気持ちも広く伝え、共感を得られる活動へとデジタルもアナログも駆使して取り組んでいければ良いと思います。

最後に、広報誌の作成にあたりご協力を頂きました皆様に、深い感謝と御礼を申し上げます。



重点要望事項を三項目、要望事項を三項目にまとめ、各要望事項についてのアンケートを実施した結果を基に「令和八年度教育予算に関する要望書」を作成し、令和七年十月十五日（水）福島市議会議員長及び福島市教育委員会に対し教育予算確保に関する要望活動を行いました。

《重点要望事項》

- 1 子ども一人ひとりの学びを保障する教育の充実
- (1) こども理解に基づく特別支援教育の充実について

- (2) いじめ対策・不登校支援について
- (1) 学校の教育環境の充実
- (1) 施設・設備の充実について
- (2) 登下校の安全環境の整備について
- 3 教職員の働き方改革の推進



健全育成委員会

委員長 錦戸 秀和
(福島一小)

健全育成委員会活動を振り返って

我々、健全育成委員会は今年度の活動として、七月二十六日(土)に「青少年健全育成市民総ぐるみ運動」の一環として、福島駅前広場周辺で行われました福島市青少年健全育成街頭啓発活動に参加して参りました。

本市の青少年が、夢と希望にあふれ、心身ともに健やかに、広い視野と他人への思いやりの心をもって成長するよう、家庭・学校・企業・地域・関係機関・団体等がそれぞれの役割を認識し、互いに協力し合い青少年の健全育成を推進する必要性を広く市民に周知するため「のびよう、のびよう、たくましく」の

- (1) 教員が子どもと向き合える時間の確保について
- (2) 働き方改革への環境整備について
- 《要望事項》
- 4 学校給食に関する予算措置の改善について
- 5 地域連携とコミュニケーションスクール推進
- 6 ICT教育支援体制の整備

教育予算確保に関する要望活動の結果については、各単Pにすでに配布されていると思いますが、市議会議員及び市教育委員会の各担当者から前向きな回答をいただいたとおりです。財政委員会では、児童生徒を取り巻く環境が変化し児童生徒に対するきめ細やかな対応が必要になっていく一方、教員が本来の教育活

厚生委員会

委員長 御代田 功二
(鎌田小)

厚生委員会の在り方と今後について

厚生委員会の活動は福島市内PTA会員への健康増進や各種球技大会を通じて会員相互の親睦を図ることを目的として行われており、コロナ禍前は小中学校のほとんどが参加する大会で選手の熱気や応援の盛り上がりも高いものでした。コロナ禍以降、ソフトボールは親善大会として参加

動に専念する時間を確保するため、教員の負担軽減が喫緊の課題になっている現状を踏まえ、教育予算が有効に活用され、これら課題が少しでも解決できるよう活動を実施しました。一年間ご協力いただきありがとうございました。



を送信させて頂きました。これらの活動を行うにあたり、この健全育成委員会での話し合いを進める中で、互いの学校同士の情報交換や今後の健全育成委員会の活動のあり方を話し合う、良い機会を得ることも出来ました。集まった各学校同士の顔の見え



希望校による小中混合の組合せで実施しています。ボール大会開催については福島市家庭バレーボール協会に委ねておりますが、年々参加者の減少もすすんできていると感じます。どちらの競技も少子化による会員減少、家庭環境の変化や子どもたちの各種送迎等、関係の構築にも繋げることができました。

と学校を超えた親睦を深める時間となりました。この学校を超えた親睦というのは現在の福島市PTAというコミュニティにおいて最も必要な事だと思えます。その一方でどのようにしていけば参加校だけでなく市内学校を繋げられる活動に出来るかが課題になります。

進路対策委員会

委員長 鈴木 智司
(北信中)

令和七年度福島地区進路対策委員会の活動を振り返って

本会は、各中学校における進路指導が効果的に行われるように、諸条件の整備に関する対策を樹立し、進路指導に寄与することを目的としております。前年度担当の清水中学校から活動を引き継ぎ、六月から本年度の活動を開始いたしました。

まず始めに、各中学校の進路対策委員会組織の報告を受け、総会を企画で開催いたしました。その後、各中学校からの議決書提出にて議事承認をしていただきました。七月に入り、県北地区の私立高等学校への要望事項を各学校から提出していただき、本年度の地区としての要望事項を取りまとめました。

今後、目まぐるしく変化する高校入試において、次年度の総会では活動内容の見直しを図っていく必要があります。WEB出願システム等の諸条件の整備に関する対策を樹立するために、各中学校に意見を求めながら進路指導に寄与できるように、時代に合った本会の在り方を検討してまいります。

第七十三回日本PTA全国大会 石川大会報告

震災という共通のテーマを学ぶ

日時：二〇二五年八月二十一日～二十三日
 全体会、第3分科会、エクスカーション参加 大内 沙 織 (岡山小)

様々な分科会がある中、奇しくも、震災関連という共通のテーマを学ぶ事になりました。私たちが震災と原発事故を経験していますが、土地が変わると被災状況や、対応が大きく変わる事を学びました。

(分科会)
 災害を通して得られた教訓を生かす事について、輪島市教育委員会教育長 小川正氏から講話がありました。

二コースでも多く取り上げられていた、中学生の集団避難を実現した方でもありません。短期間でどのようなス



ビードで決断されたのか、緊迫感あるお話をしました。他にも、石川県七尾市、熊本県、福島県のパネリストの現地視察をしました。



多田屋若女将による震災当時の経験、今の被災状況を拝見しました。
 ▼詳細はこちら



第七十三回福島県PTA研究大会 会津若松大会報告

日時：二〇二五年十月十一日
 記念講演、分科会参加 大内 沙 織 (岡山小)

(記念講演)
 天文学者・渡部潤一氏「日本人は月や星をどう愛でてきたのか」星空浴の備え」

先生は、天文学研究の傍ら、講演、執筆を通して伝えており、今回は、我が子に話し易いよう、ご講話いただきました。広い視座を持つ意味で星空浴を薦めてくださいました。

(分科会)

臨床心理士・公認心理師・鈴木明子氏「今を生きる子どもたち」理解と関わりを深めるために」
 エリクソンが提唱した八つ



▼詳細はこちら



令和7年 福島市PTA連合会親善ソフトボール大会

福島市家庭バレーボール協会大会PTAの部

編集後記

一年を振り返って
 広報委員として過ごしたこの一年を振り返ると、「初めて役員を経験」した不安と緊張から始まり、気づけば多くの学びと温かなつながりに支えられた日々だったと感じます。右も左も分らないまま飛び込んだ役員の仕事でしたが、先輩方の丁寧な助言や委員の皆さんの協力で励まされ、少しずつ自分の役割を果たせるようになりました。中でも印象深かったのは、各学校広報紙の選考に携わったことです。どの学校の紙面にも、子どもたちの姿や学校の魅力を伝えようとする工夫と情熱が込められており、読むたびにその思いが伝わってきました。同時に、広報活動が学校と地域をつなぐ大切な

役割を担っていることを改めて実感しました。
 初めての経験ばかりでしたが、この一年で得た学びは大きな財産です。支えてくださった皆さまに心より感謝申し上げます。

(福島市立第三小学校 PTA会長 本田 順二)

令和7年度福島市PTA連合会親善ソフトボール大会

Aグループ	Bグループ	Cグループ
優 勝 福大附属小・中	優 勝 福島二小	優 勝 鎌田小・北信中
準優勝 笹谷小・信陵中	準優勝 余目小	準優勝 福島三小
三 位 福島一小	三 位 荒井小・佐倉小・西信中	三 位 福大附属特別支援
Dグループ	Eグループ	Fグループ
優 勝 渡利小・渡利中	優 勝 瀬上小	優 勝 平野小・平野中
準優勝 北沢又小・大笹生小	準優勝 松陵義務教育	準優勝 大森小
三 位 鳥川小	三 位 飯坂小・大島中	(棄権) 杉妻小(棄権)

令和7年度福島市家庭バレーボール協会大会

PTAの部
優 勝 信陵中
準優勝 鎌田小
三 位 岡山小
三 位 三河台小